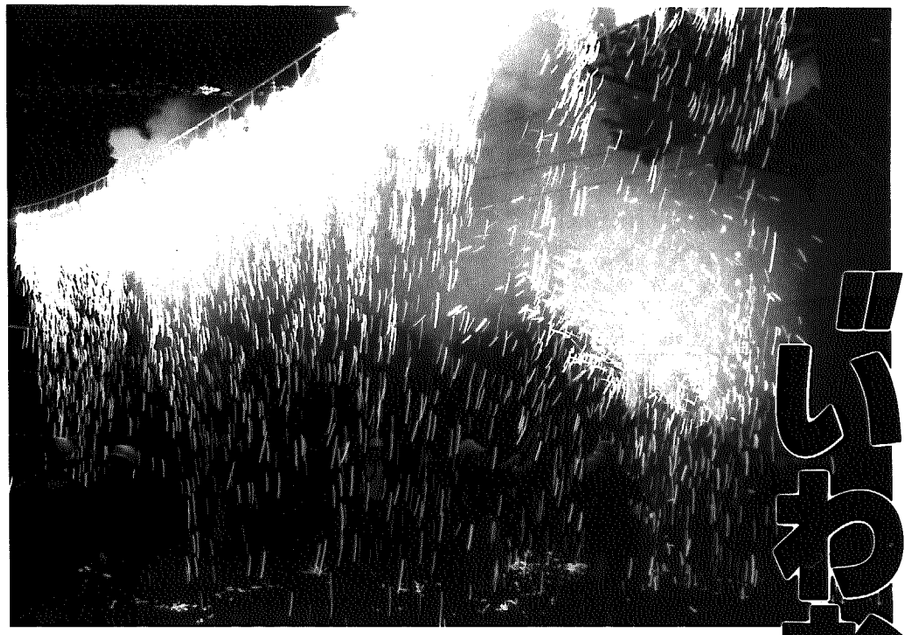
楽しさいっぱい〝いわむろ〟の夏



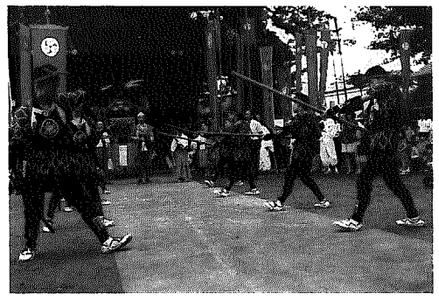
伝統の仕掛・草花火
―和納十五夜まつり―

村内の夏祭りは、伝統ある「和納十五夜まつり」でスタートします。初日（二十七日）のお楽しみは、なんといっても〝民謡流し〟。岩室駅前から住吉神社までの間を浴衣姿の岩室美人が、華やかに岩室甚句などを披露してくれます。

翌二十八日の昼は、和納小学校の児童による金管バンドのパレードと村の無形文化財でもある〝棒遣い〟を先導とした古式ゆかしい神輿渡御が行われます。

この日の夜には、打上花火が祭りの気分を盛り上げてくれます。そして和納十五夜まつりの締めくくりは、八幡神社境内で行われる仕掛花火・草花火大会。その迫力とすばらしさは天下一品です。

この和納十五夜まつりに、皆さんお揃いでお出かけください。



和納十五 7月27日(水)	夜まつり ～28日(木)
岩室温泉 7月29日(金)	まつり ～30日(土)
間瀬海 8月6日(土)	まつり ・10日(水)

豪快に、そして華やかに
―岩室温泉まつり―

毎年大賑わいをみせる〝岩室温泉まつり〟は、ことしも二十九日から始まります。

祭りの幕明けは、なんといっても神輿渡御。岩室公会堂を出発した神輿行列が、岩室の町中を練り歩きます。それに草花市とスターマイン大会が初日を飾ります。

翌三十日の〝芸妓若者みこし〟で、この祭りは最高潮に達します。艶やかな芸妓屋台踊りを先導に、芸妓や若者たちが「ワッショイ、ワッショイ！」の掛け声とともに、温泉街へと繰り出します。この芸妓若者みこしには、観光交流を続けている埼玉県皆野町から、昨年秩父音頭を披露してくれた〝みこしレディース〟が、ことしも参加してくれます。豪快な若者みこしに混じって、女の子だけで一生懸命頑張る華麗なみこしに、皆さんもぜひ熱い声援を送ってあげてください。そして丸小山運動広場では、このみこしの到着にあわせて仕掛花火が打ち上げられます。

豪快かつ華やかなこの岩室温泉まつりに、ことしはご家族お揃いで出かけてみてはいかがですか。

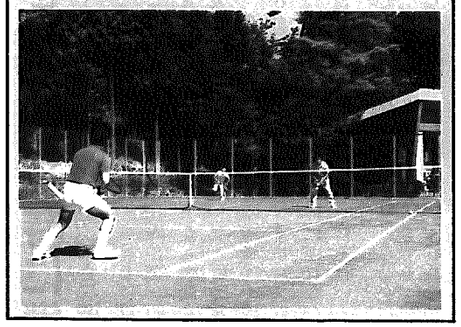
華麗なフォームで ナイススマッシュ!!
――丸小山テニスコート――

岩室の夏のスポーツは、なにもマリン・スポーツだけではありません。

ここ丸小山テニスコートでは、休日ともなると、気の合う仲間同志や親子連れ、それに若いカップルが二人でと、思い思いにテニスを楽しむ人たちでいっぱいになります。

皆さんも、この緑に囲まれた自然いっぱいのテニスコートで、小鳥のさえずりを聞きながら、思いっきりプレーして、心地よい汗を流してみませんか。

なおコートの予約は、直接**丸小山テニスコート**（☎82－3780）に申し込んでください。



真夏の楽しいイベント
―間瀬海まつり―

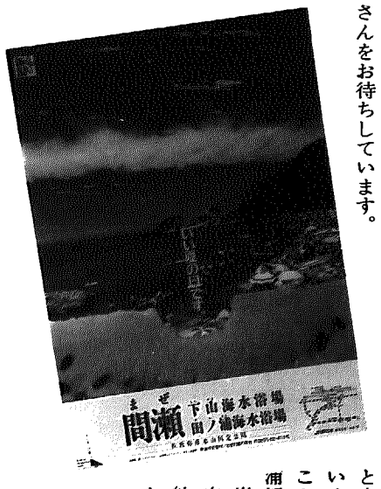
さて、岩室の夏まつりを締めくくるのは、ことしもこの〝間瀬海まつり〟です。8月に田ノ浦海水浴場（六日）と、下山海水浴場（十日）の二か所で行われます。

昨年は、「すいか割大会」、「プールでつかみどり」、「宝さがし」それに「カラオケ大会」など、楽しいイベントで盛り上がりました。

ことしのイベント内容については、残念ながらまだご紹介できませんが、昨年よりももっと楽しい祭りになること間違いなし。皆さんぜひお出かけください。

ことしの夏も〝間瀬〟がおもしろい

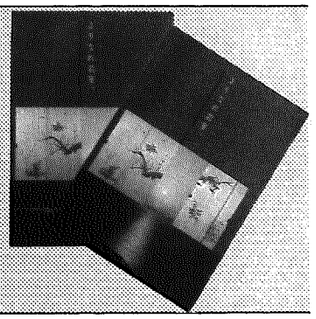
きょうから七月。夏本番を迎えて、海が恋しい季節になりました。ことしの夏も、身近な海――間瀬（下山・田ノ浦）海水浴場が、皆さんをお待ちしています。



間瀬海岸では海水浴はもちろんのこと、ウィンドサーフィンなどのマリンスポーツを楽しんだり、恋人と二人で遊歩道を散策したりと楽しみ方はいろいろ……。さらにことしは、越後七浦観音像の隣に白岩夕日パークも完成し、間瀬の魅力が一層増しました。

ことしの夏は、ぜひ〝間瀬〟へ。

岩室温泉のPRに旅行エージェント訪問



東京や関東方面からの誘客増を図ろうと、毎年行われている観光キャラバン。ことしは先月の七日・八日の両日、昨年までの方法を変え、東京近郊の旅行エージェント（代理店）を訪問しました。

当日は、観光協会の役員やJR関係者ら総勢十五名で、東京近郊の主なJR駅のびゅうプラザ四十か所をまわり、岩室温泉と間瀬海岸をPRしてきました。

このエージェント訪問は初めての試みでしたが、観光地〝岩室〟を知ってもらうためには良い機会で、参加者たちは、皆一様に十分な手応えを感じていました。